

岩手県感染症週報

平成14年第32週（8月4日～8月11日）

岩手県結核 感染症情報センター

第32週の概要

1 類感染症

- 患者発生はありませんでした。

2 類感染症

- 盛岡地区から腸チフスの患者の報告が1例ありました。患者は70歳代の男性で感染経路は不明です。

3 類感染症

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が、盛岡地区から6例、花巻地区から3例、北上地区から2例ありました。 **今注目の感染症**

4 類感染症（全数把握対象疾患）

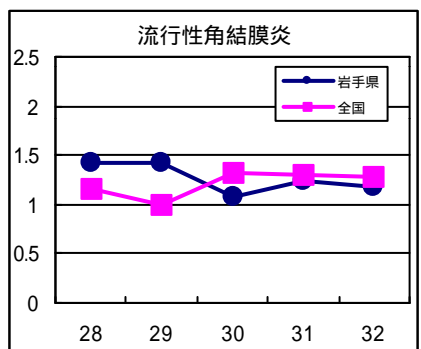
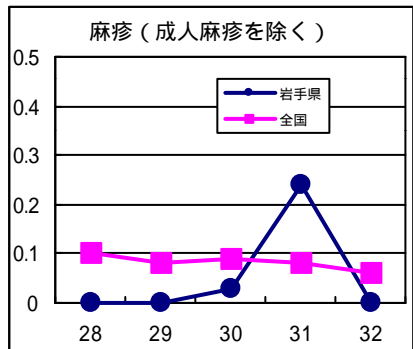
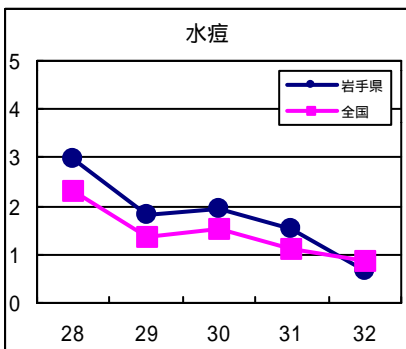
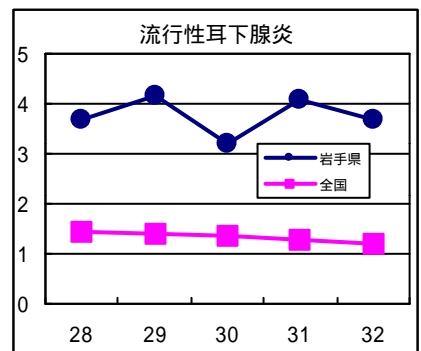
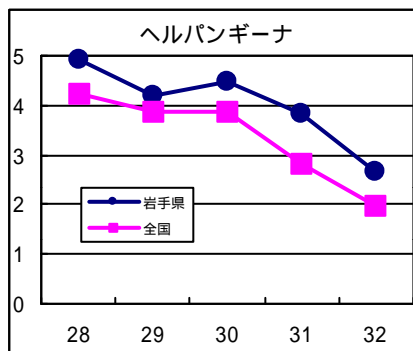
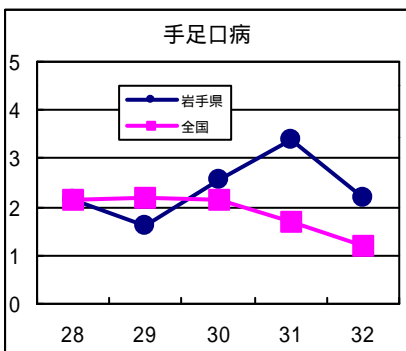
- 患者発生はありませんでした。

4 類感染症（定点把握対象疾患）

- 先週まで増加を続けていた手足口病は、今週は減少しました。患者数が特に多かった久慈地区でも減少していますが、定点あたり患者数は21.0と多く、まだ注意が必要です。
- ヘルパンギーナは減少を続けています。北上、二戸地区ではやや増加しましたが、県全体としては流行はピークを越えたものと思われます。
- 流行性耳下腺炎はここ数週ほど、定点あたり患者数が4.0前後で推移しています。これから患者数は少しずつ減少していくものと予想されますが、引き続き注意が必要です。
- 先週9例の報告があった麻疹は、今週は患者発生はありません。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向
		28	29	30	31	32	
インフルエンザ	岩手県	0.24	0.08	0.11	0.02	0	→
	全国	0.04	0.03	0.02	0.01	0.01	
咽頭結膜熱	岩手県	0.05	0.16	0.05	0.08	0	→
	全国	0.2	0.2	0.25	0.23	0.23	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.55	0.63	0.53	0.21	0.18	↘
	全国	0.95	0.76	0.62	0.45	0.36	
感染性胃腸炎	岩手県	1.47	1.26	0.87	0.71	0.82	→
	全国	3.22	2.61	2.52	2.38	2.14	
水痘	岩手県	2.97	1.82	1.95	1.53	0.68	↘
	全国	2.31	1.37	1.54	1.1	0.86	
手足口病	岩手県	2.13	1.61	2.55	3.37	2.21	↘
	全国	2.13	2.17	2.14	1.69	1.2	
伝染性紅斑	岩手県	0.13	0.11	0.03	0.05	0.03	→
	全国	0.62	0.47	0.39	0.28	0.22	
突発性発疹	岩手県	0.61	0.61	0.61	0.45	0.5	→
	全国	0.88	0.84	0.87	0.84	0.82	
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.03	0.02	0.01	0.01	0.01	
ヘルパンギーナ	岩手県	4.92	4.21	4.47	3.84	2.66	↘
	全国	4.25	3.88	3.89	2.83	1.99	
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0.03	0.24	0	↘
	全国	0.1	0.08	0.09	0.08	0.06	
流行性耳下腺炎	岩手県	3.68	4.18	3.21	4.08	3.66	→
	全国	1.45	1.41	1.34	1.29	1.2	
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	
流行性角結膜炎	岩手県	1.42	1.42	1.08	1.25	1.17	→
	全国	1.15	1	1.32	1.3	1.28	
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0	0	0	0.01	
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.02	0.01	0.02	
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0.05	0	0	→
	全国	0.36	0.49	0.5	0.38	0.29	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.15	0.15	0.05	0	0	→
	全国	0.13	0.14	0.13	0.14	0.17	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.02	0.01	0.02	0.02	

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 28	29	30	31	32	累計	32	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	8	33
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	9	454
	腸チフス	0	0	0	0	1	1	2	41
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	22
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	8	4	4	30	11	77	140	1745
四類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	8	270
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	5
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	44
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	1	0	8	6	674
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	33
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	104
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	1	0	0	4	2	81
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	63
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	2	9	526
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	3	73
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	5
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	6	1	115
	デング熱	0	0	0	0	0	0	2	34
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	1	8
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	1	1	0	0	2	7	332
	破傷風	0	0	0	0	0	0	2	58
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	24
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
マラリア	0	0	0	0	0	0	1	48	
ライム病	0	0	0	0	0	0	1	8	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	10	86	

今注目の感染症

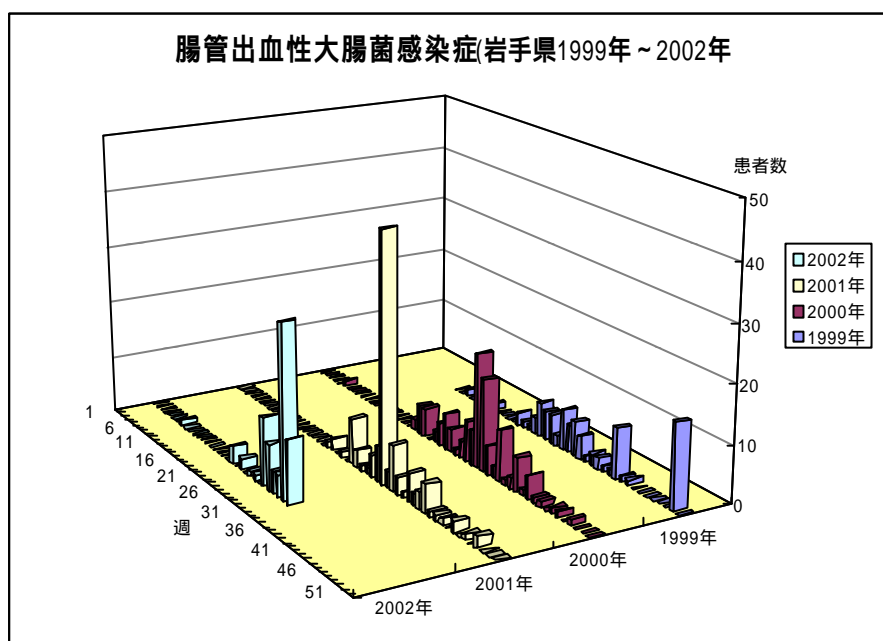
腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症が各地で多発しています。32週には盛岡地区にある児童福祉施設で2名が腸管出血性大腸菌0157に感染しているとの報告があったほか、盛岡地区から4例、花巻地区から3例、北上地区から2例の報告がありました。

これで、本年の県内の腸管出血性大腸菌感染症の報告は77例（内訳 0157:3例、026:46例、0111:16例、0115:1例、血清型不明:1例）となりました。

例年、梅雨の時期を過ぎると細菌性食中毒の増加とともに腸管出血性大腸菌感染症の件数も増えてきます。腸管出血性大腸菌は、比較的少ない菌量で感染し、小児や老人などでは、溶血性尿毒症症候群を併発することがあるため、注意が必要です。

腹痛、下痢（血便）の症状がある場合には、早めに医療機関で受診することが大切です。



病原体検出情報

第28～29週に急性扁桃腺炎の患者から採取した咽頭ぬぐい液から、コクサッキーA群4型ウイルス2例とコクサッキーB群4型ウイルス1例を分離検出しました。

第25週に無菌性髄膜炎の患者から採取した髄液からエコーウイルス11型を1例分離検出しました。

集団感染情報

盛岡保健所管内の医療機関から、盛岡保健所管内にある児童福祉施設の職員1名及び児童1名が腸管出血性大腸菌感染症（O157）に罹患している旨の届出がありました。

（1）初発患者（20歳代、男性）

- ・8月6日に下痢（血便）、腹痛、発熱を発症し、医療機関で受診
- ・8月7日に下痢が継続することから入院
- ・8月10日に腸管出血性大腸菌感染症（O157、ベロ毒素1型、2型）と診断
- ・8月11日に同所管内の他の医療機関に転院したが、容態は安定している。

（2）2人目の患者（10歳代、男性）

- ・8月8日に下痢（血便）、腹痛を発症、他の疾患もあったことから、同所管内の医療機関に入院
- ・8月12日に腸管出血性大腸菌感染症（O157、ベロ毒素1型、2型）と診断
- ・容態は安定している。

盛岡保健所では、患者に関連する喫食状況等の調査を実施するとともに、施設の児童及び職員の健康状況調査及び検便等の検査を行い、感染状況及び感染経路を調査している。

医療機関からの情報

医療機関で患者さんを診療している先生方からの情報をお待ちしております。

医療現場の生の声をぜひお聞かせください。

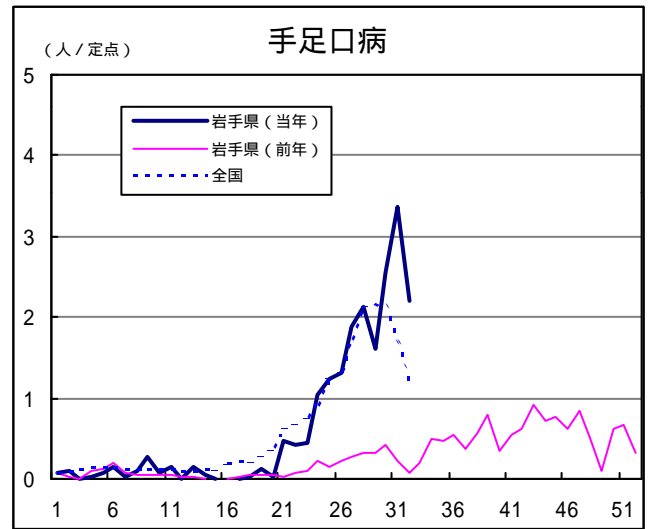
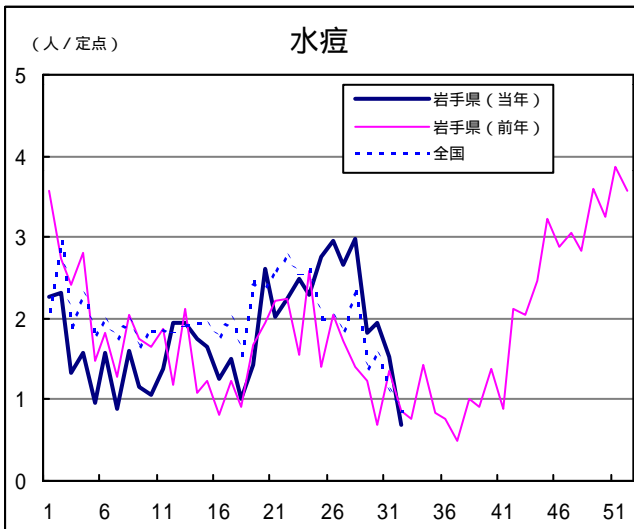
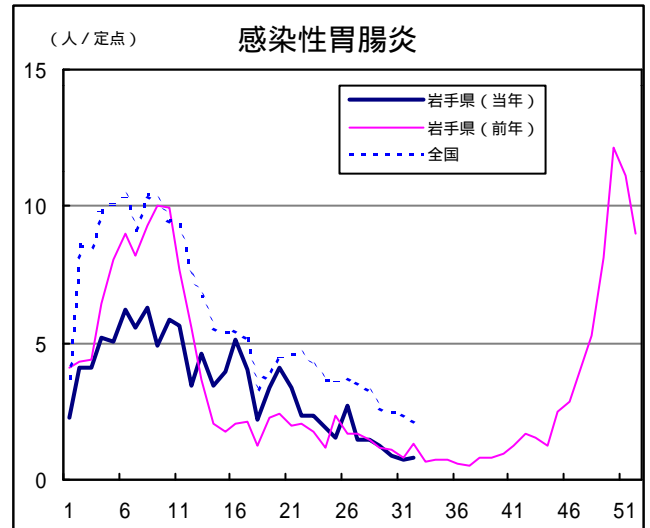
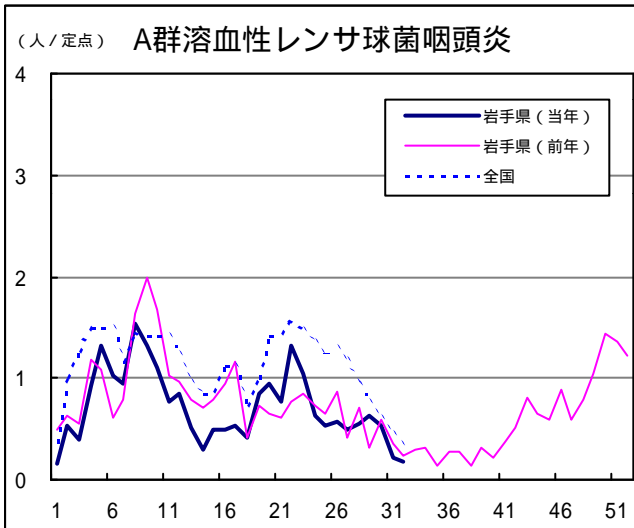
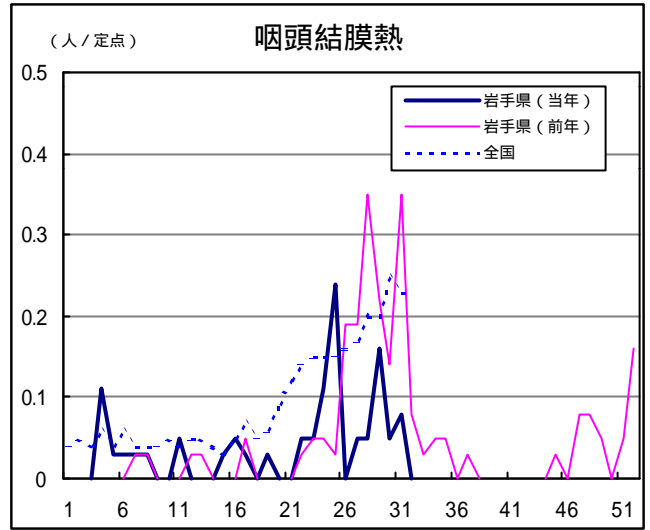
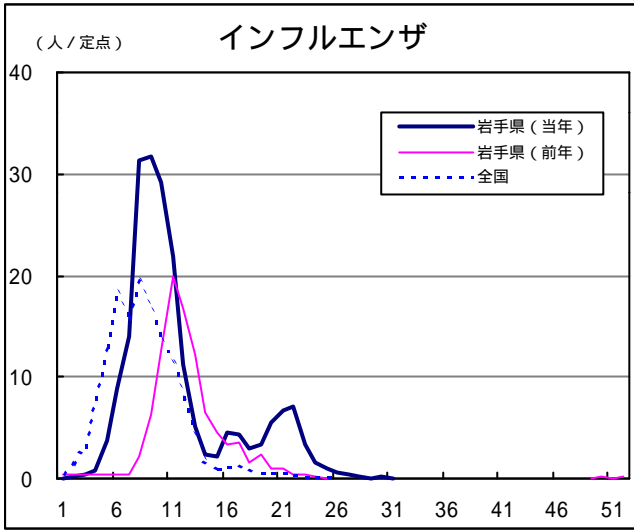
Q & A

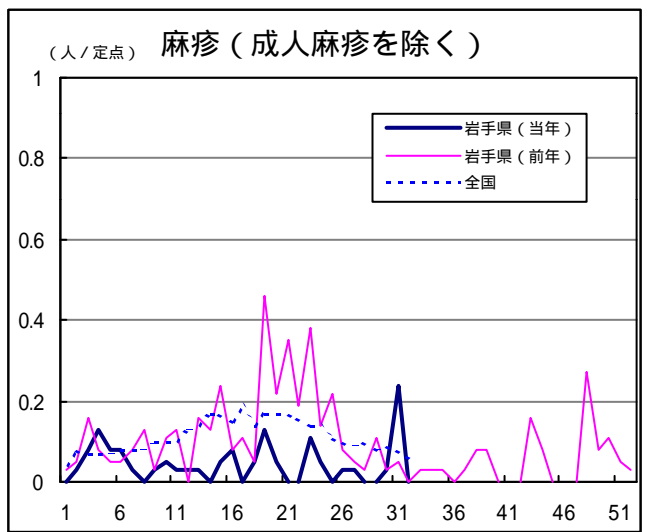
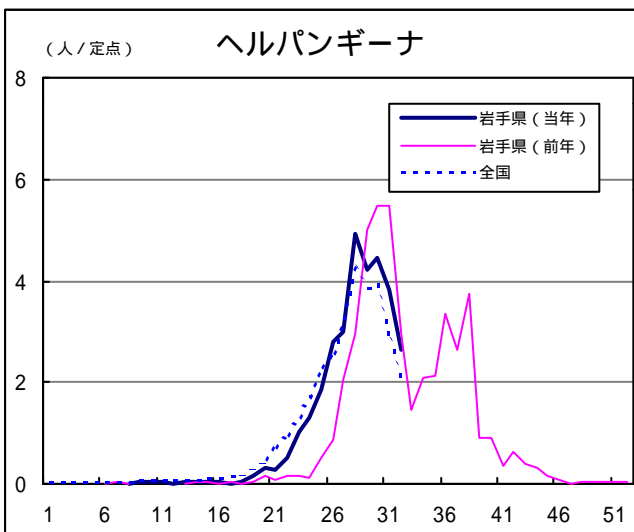
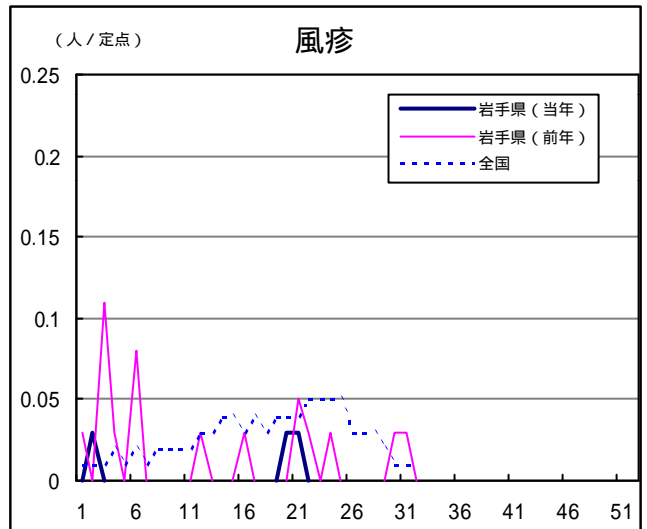
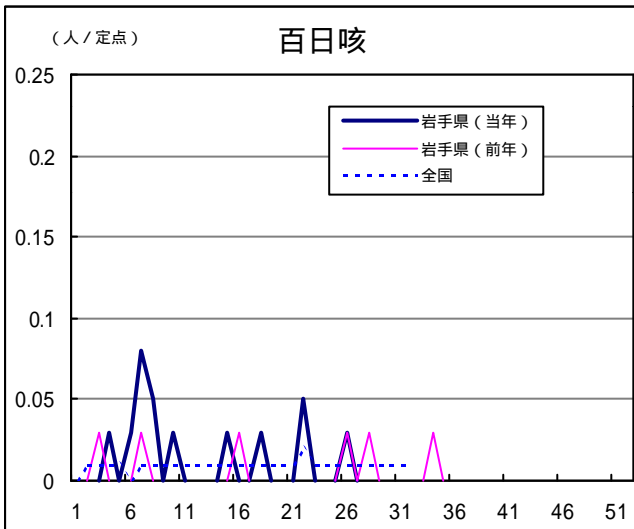
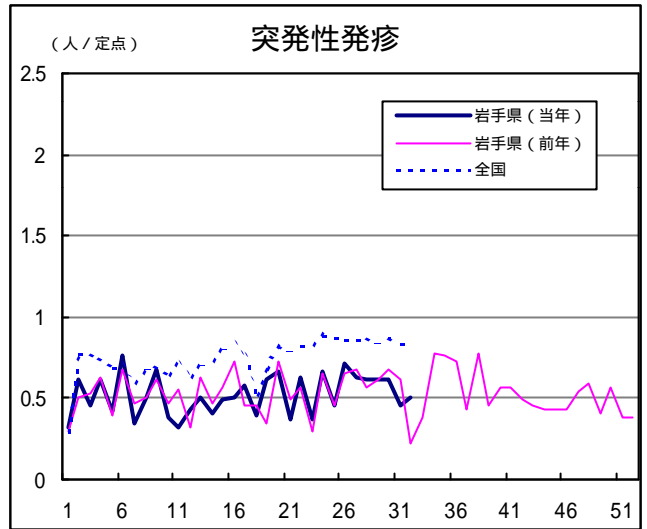
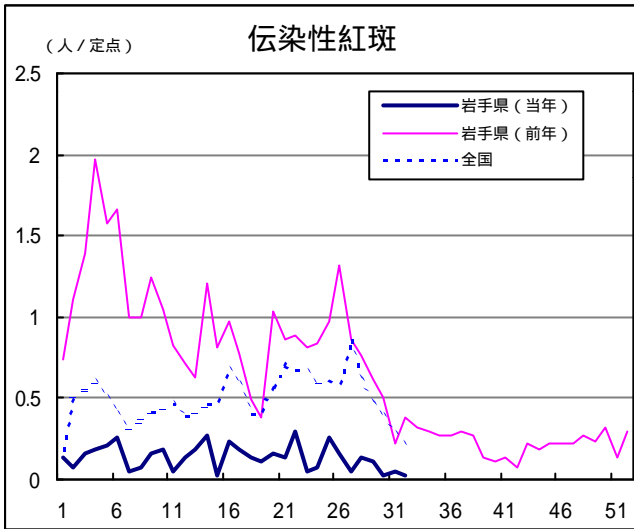
読者の皆様からのご質問をお受けしております。

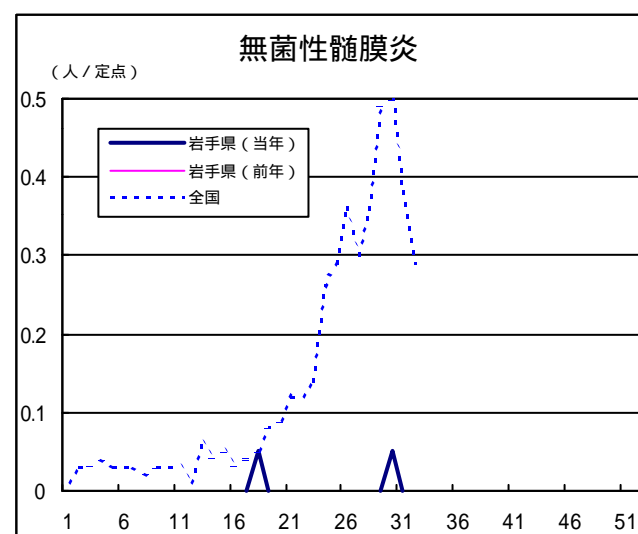
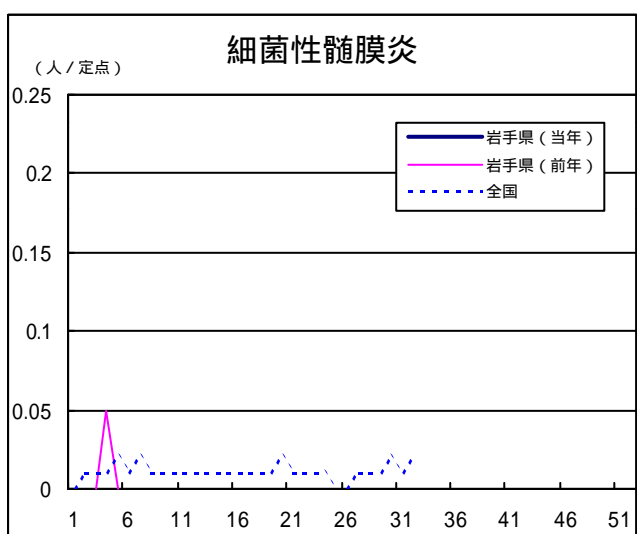
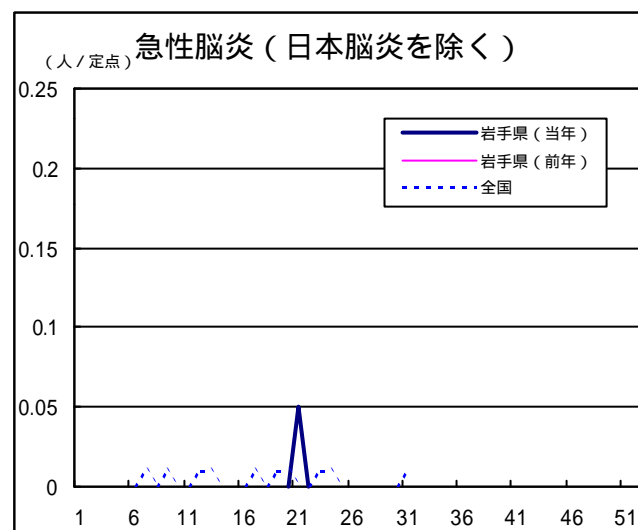
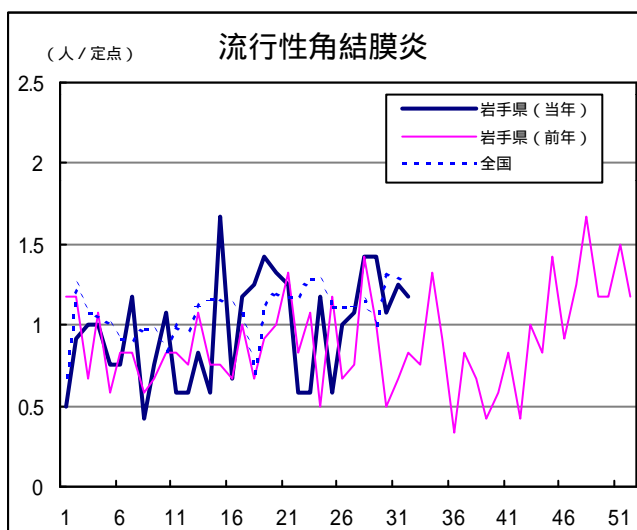
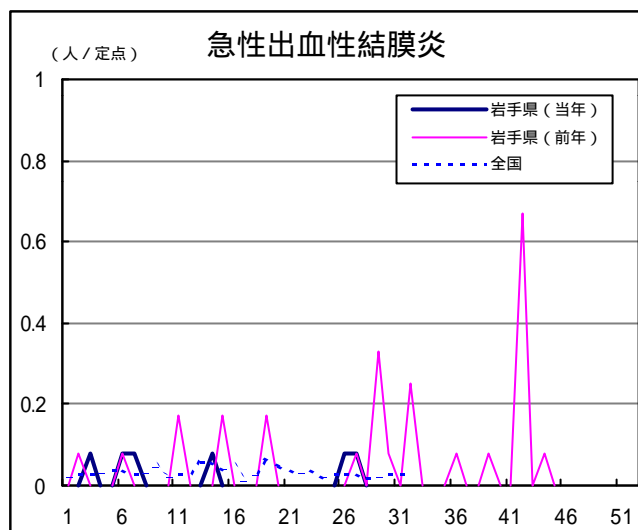
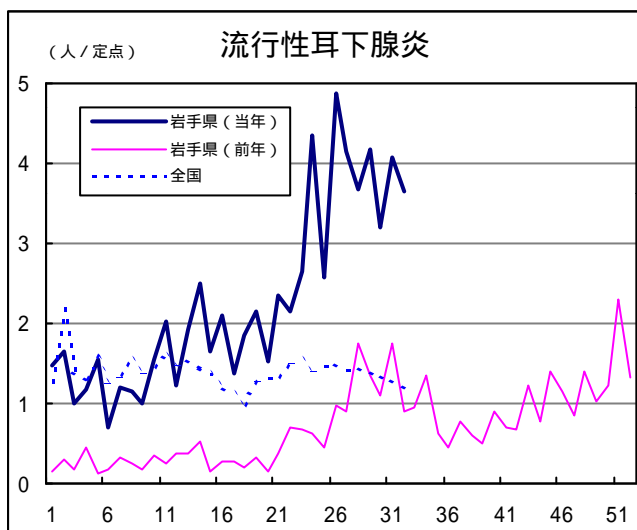
お寄せいただいたご質問につきましては、この欄でお答えします。

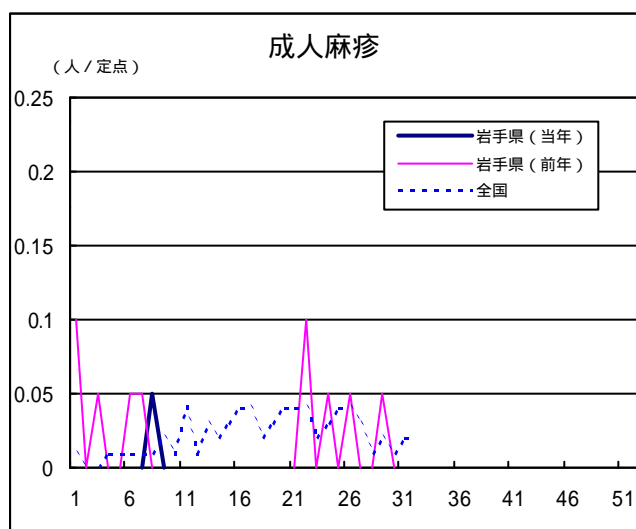
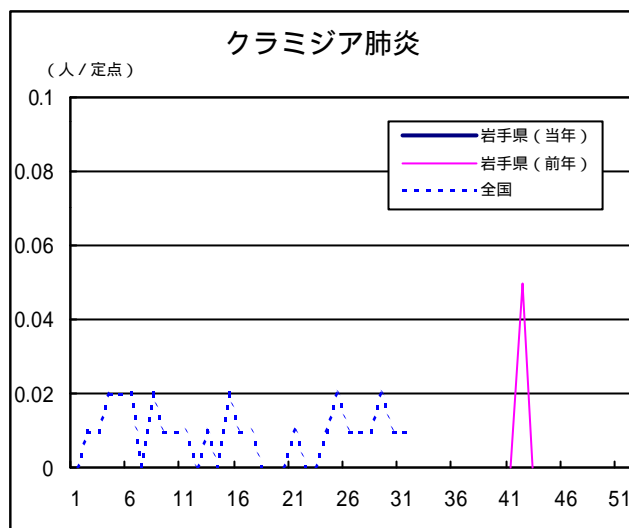
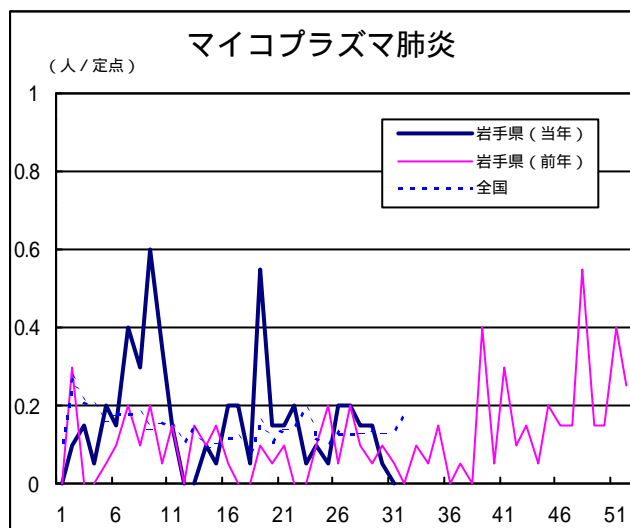
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail:CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手県感染症週報 平成14年第32週 平成14年8月16日発行

監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部保健衛生課

事務局：岩手県結核・感染症情報センター

(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL : <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県結核・感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>

<岩手県保健福祉部保健衛生課>